

ENEX2026 出展報告

— 地中熱利用の実用化・導入効果に高い関心 —

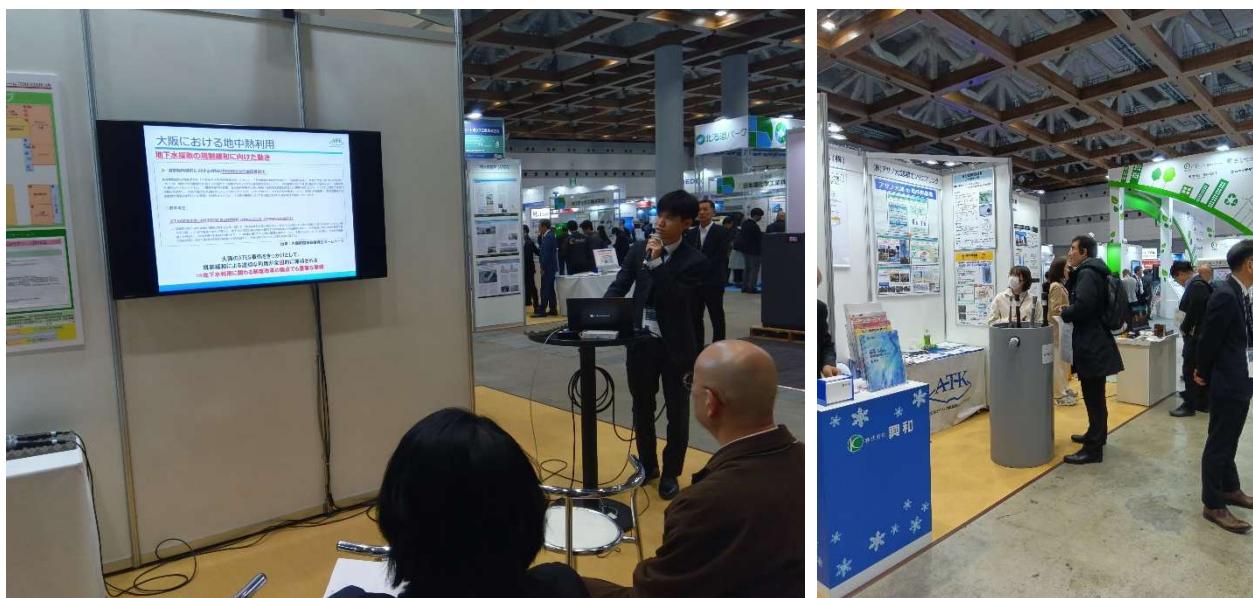
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）は、2026年1月28日から同年1月30日に東京ビッグサイトで開催された、省エネルギー・新エネルギー分野の総合展示会「ENEX2026」に出展しました。本展示会は、エネルギーの効率利用や再生可能エネルギーの普及に向けた最新技術・取り組みが一堂に会する国内有数の展示会であり、今回は「第5回 全国地中熱フォーラム（地中熱利用促進協会主催）」が併催されるなど、地中熱利用への関心の高まりを感じさせる場となりました。

ATKのブースでは、「アサノ大成の地中熱事業」をテーマに、地中熱・地下水利用に関する調査・コンサルティングから施工までのワンストップ対応と、地下水の流向・流速を高精度に把握できる計測機器「単孔式流向流速計」を紹介しました。会期中は、官公庁・自治体関係者、設計事務所、建設・設備関連企業の方々を中心に、多くの来場者にお立ち寄りいただき、地中熱利用の実用化や導入効果に関する具体的な相談や質問が寄せられました。

会期中には弊社社員によるセミナーも実施し、国内外の地中熱事業の取り組みや、地域動向について発表しました。ブース・セミナーともに、具体的な導入効果や計画手法に関する質問が多く寄せられ、脱炭素社会・気候変動に貢献する地中熱利用の第2次実装フェーズ（導入検討段階から本格普及段階への移行）への期待を感じる機会となりました。

ATKは今後も、地中熱・地下水利用の普及と高度化を通じ、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上



弊社職員によるセミナーの様子

展示ブースの様子

＜本資料に関するお問い合わせ＞

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 中西（03-5246-4150・代表）<https://www.atk-eng.jp/>